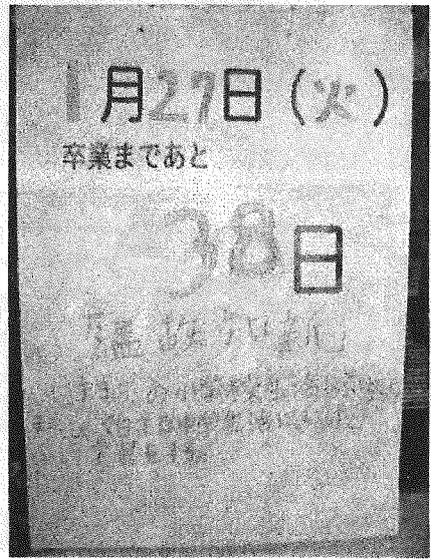


おおやま夢通信



【6年教室の自作カレンダー】

それぞれのゴールに向かって!

1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われますが、新しい年2015年も気が付くとすでに1ヶ月が過ぎようとしています。

保護者の皆様もご存じのように、学校にとっての新しい年の始まりは、学年のまとめの時期でもあります。1月15日に行われた全校集会では、1年生と5年生の代表児童が、3学期のめあてや抱負について発表しました。

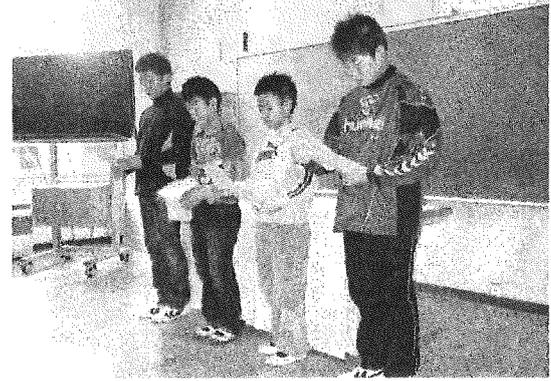
3学期は51日間という短い学期です。一人一人が自分自身のめあてをしっかりと意識して一日一日を大切に送ってほしいと思います。そして、新しい学年、新しい学校生活(中学校)に向けて、大きな夢や希望をもって修了式、卒業式の日を迎えられるように、私たち職員も努力して参りますので今学期もどうぞよろしくお祈りします。

「畑の学校」成果発表・閉校式

1月20日(火)、「畑の学校」の先生方や県北農林事務所長様、教育長様などをお招きして、「畑の学校」成果発表会と閉校式を行いました。

前半の成果発表会では、全員で取り組んできたサツマイモの栽培や米の学習についての発表の後、「栄養のバランスを考えた献立」や「外国と日本の食の違い」など、食に関する9つのテーマについて、それぞれのグループが学んできたことについて簡潔で分かり易い発表が行われました。

後半の閉校式では、当日都合により出席できなかった「畑の学校」の校長先生に代わって、畑の学校の先生の伊藤善三さんから修了証書をいただきました。



【自分たちのテーマについて発表する児童】



【それぞれの学級の代表者への修了証書授与の様子】

また、県北農林事務所長様からは、「畑の学校の開校にあたり、「お願いした3つのこと(①食の大切さ、②環境を守ることの大切さ、③地域や地域の人々との結びつきの大切さ)」について、予想を上回るような素晴らしい学びをしてもらいました。」というお褒めの言葉をいただきました。

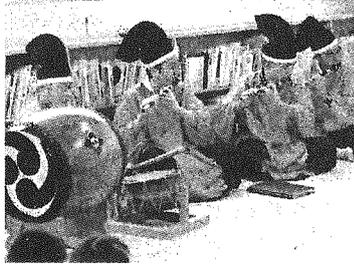
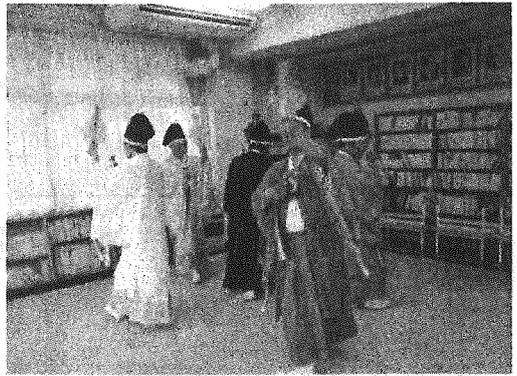
平成24年度から行ってきた「畑の学校」は、今年度が最終年度となりますが、これまでも伝統的に行ってきた食についての学習や栽培学習につきましては、放射線教育と並行して今後も継続してまいりたいと考えておりますので、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

神原田神社「十二神楽」

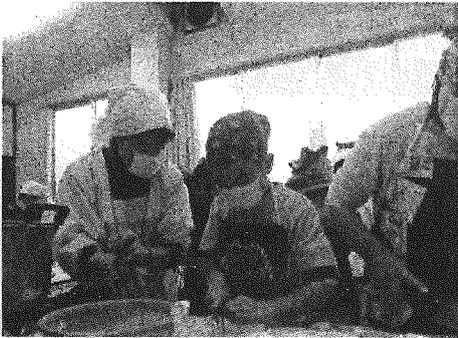
今年度、4年生は総合的な学習の時間で大玉村の自然や伝統行事について学習しています。

1月15日(木)、神原田神社に伝わる「十二神楽」保存会の皆さん13名に来校していただき、本物の舞と音楽を体験しました。この日は、見学するだけではなく保存会の皆さんに舞の手ほどきを受けたり、鈴などの持ち物に触れたりすることができました。子どもたちは、その舞の素晴らしさもさることながら、楽器が奏でる音色にも心を奪われているようでした。

保存会の皆さんには、この後も9回程度学校に足を運んでいただき、指導していただくことになっています。4年生の中から、十二神楽を引き継ぐような子どもが現れるかどうかは分かりませんが、地域に残る伝統文化に触れ、その素晴らしさを実感するとともに、地域を誇りに思えるような心を育てることができたらと考えています。



【1月15日の活動の様子から】



なつかしの美味クッキング教室

1月22日、「なつかしの美味クッキング教室」が大山小学校の家庭科室と大山公民館を会場に開催されました。これは、村教育委員会生涯学習課主催の世代間交流事業の一つとして行われている「すいとんづくり教室」です(11月に1、2年生が老人クラブ連合会の皆さんに教えていただいた昔遊びも、この事業の一環です)。

当日は、大玉村老人クラブ連合会会長さん始め、13名の老人クラブ連合会女性部の皆さんに講師としてお出でいただき、5年生が、野菜の切り方やだしの取り方、すいとん粉の練り方などを一つ一つ教わりながら、おいしいすいとん作りに挑戦しました。この日は、お弁当の日だったので、子どもたちは講師の皆さんとの会話を楽しみながら、準備してきたおにぎりと一緒に、あつあつのすいとんをおなかいっぱいいただきました。老人クラブ連合会の皆様ご指導ありがとうございました。

